

「中部人懇」は「中部地区人権教育懇談会」を略した名称です。被差別部落の完全解放をめざし、中部地区同和教育の推進をはかることを目的に1971年(昭和46年)に発足しました。本会の取組は同和問題をはじめとするあらゆる人権問題について語り合うことで、中部全体の人権意識の高まりを生み出してきました。今年度は幼児教育関係者、学校の教職員、市町行政職員、PTA関係者を対象に4回の研修を行っています。

「中部人懇」って  
こんな会です!



令和2年11月20日(金)、小・中・高等学校・特別支援学校の学級担任を対象として、第3回中部地区人権教育懇談会を開催しました。その内容を報告します。

## 講演「誰一人取り残さない『授業・学級づくり』の実践

～身につけよう! 確かな人権感覚を～

講師 びわこ成蹊スポーツ大学 客員教授 園田 雅春 氏

### ■講演の内容

#### ○「2つの人権教育」

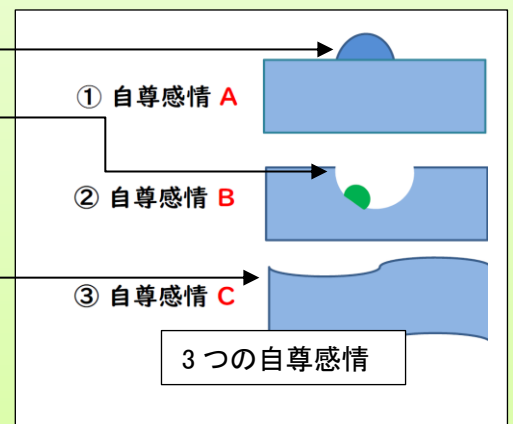
- (1) 人権についての教育 … 様々な差別についての学習のこと。正しく知ることが重要である。学校での人権教育は家庭・地域に広がる。
- (2) 人権としての教育 … 「自分の人権が尊重された経験のない者は、他人の人権も尊重しない。」大事にされている実感が自尊感情につながる。

#### ○「人権感覚」と「学欲」の源泉「自尊感情」をはぐくむには

- (1) 自尊感情の反対語は「自己差別感情」
- (2) 自尊感情には、**A**(人と比べてよいところを認める)、**B**(光の当たらないところをキャッチし認める)、**C**(存在を認める)の3つがある。
- (3) 「〇力」向上には「〇欲」向上が大切。欲を生み出すために、自尊感情を高めることも大切。

#### ○人権教育の実践 いっそうの充実のために

- (1) 「人権教育」と「道徳科」は「水と花」の関係である。人権教育の充実なくして道徳性に実りはない。人権教育を基軸として道徳性を養ってほしい。
- (2) 一人の子どもを粗末にするときその学校・園は光を失い、その地域は未来を失う。



### 【参加者の感想より】

- 現在「人権としての学習」をしているが、子どもの中には実感がなく腑に落ちていない子どももいる。そんな時は学習の中で、一人一人が大切にされている実感を持たせたい。
- 園田先生のお話を聞きながら、自分が担任しているクラスの子どもの顔が次々と浮かんできた。子どもの生活の背景や問題行動を起こす理由をよくみていきたい。
- 日常生活の場面での子どもたちの行動、言葉に対してどう対応できるかが大事だと考えていたので園田先生のお話には大変共感できた。その子どもの言動から、他者を思いやっている心を見極めることができるようにしたい。
- 人権教育の「水」がベースにあるからこそ、道徳教育の充実が図れるのだと実感した。子どもと過ごす1日の中にたくさんの「人権教育チャンス」があるのだと改めて感じた。

園田先生は、自分を大切にできて初めて他人を大切にできるのだとお話されました。今一度、目の前にいる児童生徒の背景やつぶやきを大切にしながら、「あなたが 大切だ」という気持ちで、実践を積み重ねていただきたいと思います。

